

鳥東新聞

第198号
R5.7月

皆さんには忘れられない夏の思い出はありますか？

私の高校は夏に文化祭があったのですが、1年生のとき担任の思い出で教室内に日本庭園を造ったんです。ビニールプールを使い、大きめの石を入れて池を再現。リアリティーを追求した結果、プールに穴が空き木の床は腐って悪臭を放ち床板が浮き上がって張り替え。言い出しっぺの定年間近の担任が教頭頭に叱られるという珍事件がありました(笑)

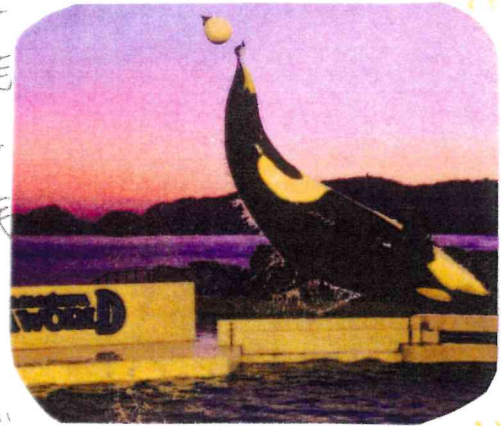


この夏のしみなこ 受付 宮澤

皆さんこんにちは。7月号は私宮澤がこの夏のしみについてご紹介いたします。皆さんは千葉県鴨川市にある「鴨川シーワールド」通称「鴨鳥シー」をご存知ですか？約800種、11,000点もの生き物が生息する水族館です。そこに念願叶って初めて行くことになりました！水族館といえば、江ノ島や八景島は比較的近い水族館がある中でわざわざ千葉まで行きたいのかというと、鴨鳥シーで見れない大迫力のシャチショーが見れるからなんです！現在日本でシャチを飼育しているのは名古屋港水族館と鴨鳥シーの2ヶ所のみで、2つの水族館のシャチはみんな血の繋がりのある家族なんです。鴨鳥シーには3姉妹の長女ラビーちゃん、次女ララちゃん、三女ランちゃんとラビーちゃんの娘ルーちゃんがあります。眠っているとき、疲れているときにラビーちゃんたちの動画を見てインターネットで見るとは



4頭それぞれ性格に特徴がありとても愛らしく、いやされます。担当のトレーナーさんとも信頼関係があり、海洋食物連鎖の頂点に君臨し、「海の王者」といわれるシャチですが、鴨鳥シーのシャチはその片鱗すら見えません…。シャチはとても知能が高く、人間でいう方言のような家族やコミュニティ単位で異なる「ユール」と呼ばれる声で他の家族と会話をしてコミュニティを識別しているんです。さらに、大人のシャチは子どもを守る行動力がたく、養育力されていて、とくにメスの場合は母親が狩りに出ている間はほかのメスが母親の子どもを守る重きをとります。過去には生まれてすぐ七つぼてしまった我が子を海面に押し上げて、なんとか呼吸をさせようとする日間も奮闘した母親もいるそうなんです。シャチは人間と同じくらいの母性や知性があり、命の意味を自然と理解しているのかもしれませんが、さて最後に、そんな高い知性と知能を持つシャチですが、鴨鳥シーのシャチのすご技をいくつか紹介させていただきます。「スカイロケット」という技で、トレーナーさんの足を口先で押し上げて自らもジャンプしながらトレーナーさんを水面より何メートルも上に飛ばすという技があります(写真参照)。皆さんも鴨鳥シーのシャチショーを見てみたいと思ったのではないのでしょうか!? インターネット環境がある方、ご自身やご家族がスマホやパソコン、タブレットなどを所持の方、ぜひ動画で見てみてください!!



冷房に当たるのが多い季節。身体を冷やしすぎないように上手に体温調節をして、夏を楽しみましょう!

